

今後の ASEAN 進出加速を見据え、ベトナム機関と MOU 締結

ベトナム国家大学ハノイ校医科大学及び大学附属病院との間で、
ベトナム整形外科分野における臨床・技術両面での長期的協力体制を構築

ナカシマヘルスフォース株式会社（岡山市、代表取締役社長：中島義雄、以下「当社」）は、このたび、ベトナム国家大学ハノイ校医科大学（University of Medicine and Pharmacy, Vietnam National University, Hanoi 所在地：ベトナム・ハノイ、以下「VNU-UMP」）及びベト・ドク大学附属病院（Viet Duc University Hospital 所在地：ベトナム・ハノイ、以下「VDUH」）との間で、ベトナムにおける整形外科インプラントのニーズ・供給・市場を把握し、医療の質向上と長期連携のために情報交換と共同調査を行うことを目的とした覚書（Memorandum of Understanding、以下「MOU」）を締結いたしました。

1. MOU 締結の背景と目的

当社ではかねてからコアコンピタンスとして日本人・アジア人に適した整形外科インプラントの研究・開発を掲げており、将来の ASEAN 市場参入に向けてまずタイでの活動を重ねてきました。その中で、人口 1 億人を突破し人口分布から今後 20 年で急速に高齢化が進むことが想定されるものの未だ医療水準に向上の余地があるベトナムに着目し、当社が果たせる役割について検討を進めて参りました。この度、ベトナムでもアジア人に適したインプラントの需要があると判断し、市場環境や臨床ニーズの把握を踏まえて今後の展望を検討するため、ベトナム有数の教育機関である VNU-UMP 及び国内有数の手術症例数を誇る VDUH と長期連携を見据えた MOU の締結に至りました。

2. MOU の範囲

今回締結する MOU では、長期的な連携を前提に、ベトナムにおける整形外科医療体制および実際の臨床現場への理解を深め、臨床の実態における課題や未充足の医療ニーズを正確に把握することを目的とした「クリニカル・イマージョン（Clinical Immersion）」の概念に基づいて実施されます。日越間の医療関係者の相互交流や、把握したニーズへ対応するための個別プロジェクト組成を通じた活動などが含まれます。

3. 今後の展望

調査を通じて把握した市場環境の理解をもとに、日本からの製品供給、骨形態分析を通じた製品開発、現地でのサプライチェーン構築などあらゆる可能性を否定せずニーズを充足するために最適な方法を模索し、ASEANにおける運動器疾患患者のQOL向上及び健康寿命の延伸に貢献することを目指します。

4. ベトナム国家大学ハノイ校医科大学及びベト・ドク大学附属病院について

・ベトナム国家大学ハノイ校医科大学

正式名：University of Medicine and Pharmacy, Vietnam National University, Hanoi

所在地：No. 144 Xuan Thuy Street, Cau Giay Ward, Hanoi, Vietnam

概要：2020年にハノイ国家大学医科・薬科部を継承し、首相決定により国家大学へ昇格。年間

1200人以上の学部生及び大学院生を受け入れ、医学・薬学など6つの学士課程、12の修士課程、13のレジデンシー専門分野、5つの初期専門課程を医学・薬学及び関連分野で提供。教育・臨床・研究を統合した高度医療人材の育成拠点。

・ベト・ドク大学附属病院

正式名：Viet Duc University Hospital

所在地：No. 40 Trang Thi Street, Hoan Kiem Ward, Hanoi, Vietnam

概要：1906年創設の歴史ある総合外科病院。約1,500床を擁し、心臓移植や肝臓移植、多臓器移植、神経外科・整形外科など高度外科治療の中心的施設として国内でもトップクラスの実績を持つ。医療サービスだけでなく、科学研究や教育拠点としても機能し、国際協力に積極的に参加。



【本件に関するお問い合わせ先】

ナカシマヘルスフォース株式会社 経営企画部経営企画課 TEL：086-226-1055

以上